

博士論文内容の要旨及び博士論文審査結果の要旨

氏名（生年月日） 戸田 淳氏（****年**月**日）
本籍（外国人の場合国籍） ****
学位（専攻分野） 博士（感覚矯正学）
学位授与番号 乙第 40 号
学位授与日付 令和4年3月21日
学位授与の要件 学位規程第3条第4項該当
論文題目 地域高齢者における認知特性と身体活動との関連
—新たな認知症予防プログラム開発のための基礎的研究—

審査委員会

主査 福永 真哉	副査 種村 純	副査 塩見 将志
副査	副査	副査

博士論文内容の要旨

本研究は認知症予防に関する臨床研究と基礎研究から成る。臨床研究では地域高齢者のうちフレイル群で注意遂行機能検査成績が低下した。また、軽度認知障害および軽度アルツハイマー病者において流暢性検査成績が低下した。以上、全般的な認知機能の低下以前に遂行機能の低下が生じることを明らかにした。基礎研究として若年健常者を対象として疑問文作成課題および呼称・逆呼称課題により背外側前頭前野および前頭極が賦活されることを、機能的近赤外分光分析法（fNIRS）を用いて明らかにした。これらの課題によって従来の運動および認知二重課題が困難なフレイル状態にある高齢者にも適用可能な認知症予防介入の可能性を示した。

博士論文審査結果の要旨

審査会では予備審査会での指摘にしたがって修正・加筆した事項について発表と質疑応答がなされた。質疑応答では、予備審査会で指摘されて修正した大きな変更点について、基礎研究における課題の選択の根拠について、統計解析の手法の選択と分析の妥当性、評価項目の検査を選択した理由について質問が出され、これに対して適切に回答した。研究内容の発表を受けて、この新たな認知症予防法の開発の研究成果は信頼性があると判断し、本研究成果は、これまで査読による審査のあるしかなるべき国際誌を含む学術誌に複数掲載されており、内容も妥当であると判断されたため、審査委員会は本論文が博士論文にふさわしい成果であると評価した。